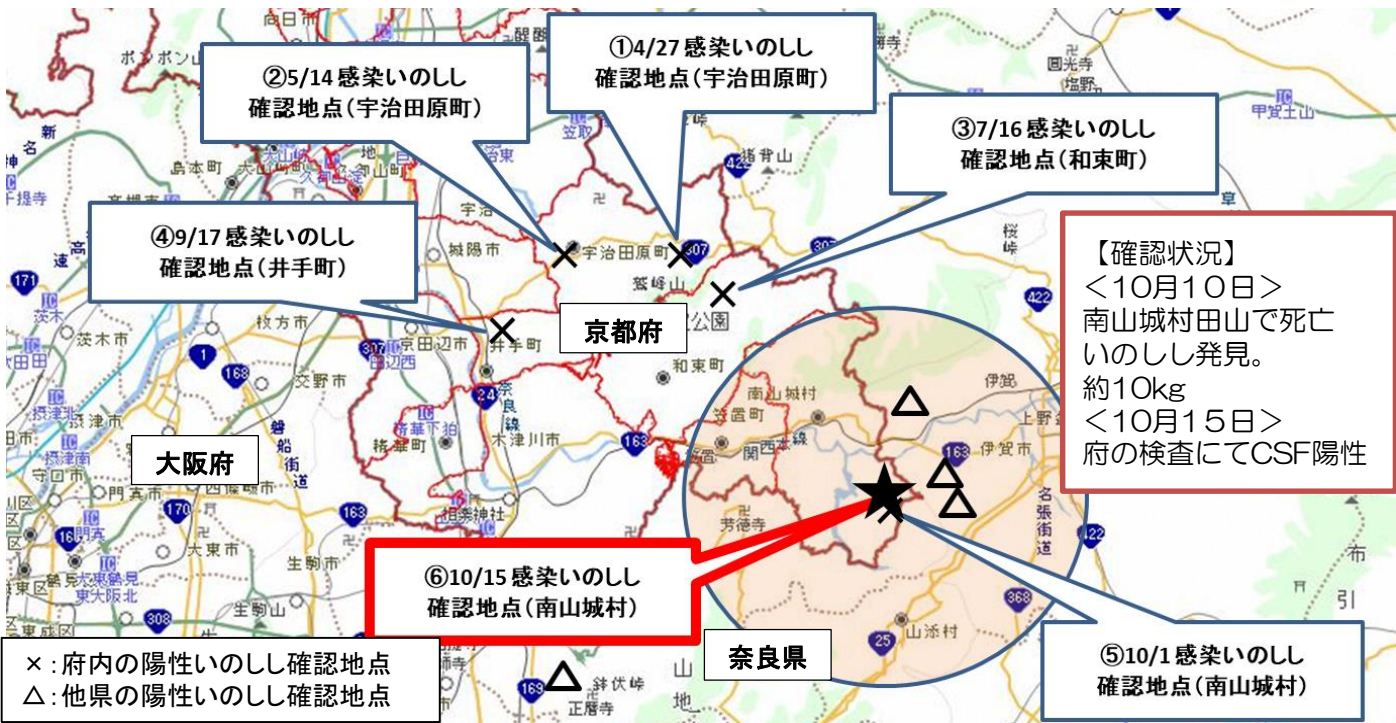


南山城村の死亡野生いのししから CSF(豚熱)ウイルスを確認！(府内6例目)

10月10日に南山城村内で死亡していた野生いのししから、CSF(豚熱)ウイルスが確認されました。府内では6例目の確認です！

現在、CSF陽性いのしし確認地点から半径10km圏に含まれる地域は次のとおりです。(城陽市、京田辺市、宇治田原町、井手町、和束町、笠置町、南山城村全域。宇治市、木津川市、精華町のほぼ全域、京都市、八幡市、久御山町の一部)

奈良県を含め10月に入って陽性いのししが3例確認されており、野生いのししでの感染拡大が予想されます。衛生対策の強化と異常の早期発見・早期通報をお願いします。



以下について、いまいちど点検をお願いします！

- ☑ 毎日、豚やいのししの健康観察をしてください。異常があればすぐ通報！
- ☑ 出入りする車両や飼育施設周辺の消毒を徹底してください。
- ☑ 飼養衛生管理区域専用の衣服・長靴を着用してください。
- ☑ ネットや柵、コンパネなどを活用し、いのしし、ねずみなどの野生動物の侵入や接触の防止対策をしてください。
- ☑ 肉及び肉製品が含まれている可能性のある飼料は加熱給与してください。
 (攪拌しながら90℃以上60分以上又はこれと同等※以上)

※ 攪拌しながら90℃で60分以上、又は95℃で19分以上、100℃で6分以上

■ CSFは、豚、いのししの病気であり、人に感染することはありません。

■ CSFにかかった豚の肉が市場に出回ることはありません。